

＜ご使用前に＞

このたびは、腰部サポートウェア「ラクニエ」をお買い上げいただき、ありがとうございます。
本製品をお使いいただく際には、この取扱説明書をよく読み、正しくお使いください。
お読みいただいた後は、紛失しないように保管し、使用方法が分からない場合には、再度お読みください。

＜本製品の用途と特徴＞

- ・本製品は、前屈姿勢時の腰部の負担を軽減するウェアです。
- ・本製品は、腰を曲げることで、肩からひざにかけて配置された弾性生地が伸び、張力を発揮します。
- ・通常時には弾性生地がゆるんでいるため、つっぱらず、動きやすい設計です。
- ・本製品は、腰痛その他の疾患を治療するものではありません。
- ・本製品には、静電気帯電防止機能はありません。
- ・サポート力には個人差があります。
- ・本製品は、自身が持っている以上の力を発揮できるものではありません。本製品を装着して、過度に重たいものを持つことや、必要以上に腰に負担のかかる姿勢を取ることは避けてください。

＜安全上のご注意（必ずお読みください）＞

⚠ 警告（その危険を回避できなかった場合に、使用者や第三者が死亡又は重傷を負う可能性のあるもの）

- ・用途以外でのご使用はお止めください。ケガや本製品の破損の原因となります。
- ・本製品の改造・加工は行わないでください。ご使用中に本製品が破損するなどし、ケガをすることがあります。
- ・以下に該当する方は、ご使用をお止めください。症状の悪化や異常の発生を招くことがあります。
 - 肩、胸、腰、ひざ等の装着部位に、ケガや血行不良その他の疾患がある方。
 - 妊娠中の方。
 - 低体力の方。

- ・以下の場合、すぐに使用を中止し、専門医へご相談ください。
 - 痛み、しびれなどの異常を感じた場合。
 - かゆみ、かぶれ、湿疹などの異常を感じた場合。
- ・以下のことを必ず守ってご使用ください。正しくご使用されない場合、十分なサポートが得られないだけでなく、身体が過度に圧迫されたり、製品が周囲に引っかかるなどし、ケガや本製品の破損の原因となります。
 - <サイズ表>を参考に適正なサイズの製品をご使用ください。
 - 本取扱説明書裏面に記載の「装着方法」に従い、正しく装着・調節してください。
 - 装着時には、ひざ固定ベルトを締め過ぎないでください。
 - ひざ固定ベルトを外したまま、歩いたり階段昇降をしないでください。
 - 直立時に張力を感じる場合は、再度「装着のポイント」・「装着方法」に従って、装着・調節し直してください。
 - 前屈時に張力が感じられない場合は、再度「装着のポイント」・「装着方法」に従って、装着・調節し直してください。
 - 着座時や、しゃがみ込んでの作業時などで、張力が不要な場合は、「サポート解除方法」に従って、背面バックルを外してください。
 - 就寝時には使用しないでください。
- ・本製品に破れ・亀裂・破損、面ファスナーの貼り付き不良などがみられる場合はご使用をお止めください。
- ・弾性生地に伸縮性がなくなった場合は、ご使用をお止めください。

⚠ 注意（その危険を回避できなかった場合に、使用者や第三者が軽傷を負う可能性のあるもの、および他の財物への損害の可能性のあるもの）

- ・バックルは、衣類から離して連結してください。衣類を挟んで破損させることがあります。
- ・淡色の衣類との重ね着は避けてください。色移りが発生することがあります。
- ・面ファスナーに衣類を挟んだり、面ファスナーを衣類に貼り付けたりしないようにご注意ください。衣類を破損させることがあります。
- ・面ファスナーで肌を傷付けないようにご注意ください。

＜洗濯方法＞

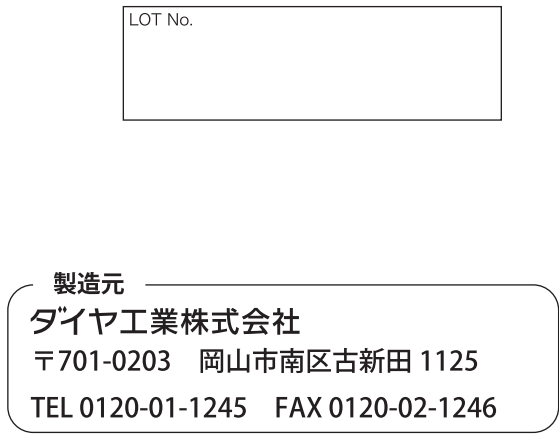
- ・他の衣類への色移りや、他の衣類の損傷を防ぐため、単品洗いをしてください。
- ・面ファスナーは貼り付けた状態で手洗いしてください。
- ・30℃以下の水で、中性洗剤を使用し、手洗いしてください。
- ・洗濯後の乾燥は陰干しにしてください。
- ・洗濯機は使用しないでください。本製品を傷つけることがあります。
- ・柔軟剤・漂白剤・アイロン・乾燥機の使用、ドライクリーニングは避けてください。

＜保管方法＞

- ・直射日光が当たらない湿気の少ない風通しの良い場所に保管してください。
- ・面ファスナーは、貼り付けた状態で保管してください。

＜廃棄方法＞

- ・本体生地と弾性生地は布製品ですが、背面バックル、脇ベルトのループおよび胸部のスナップボタンには樹脂素材を使用しています。廃棄するときは、地域のルールに従って廃棄してください。



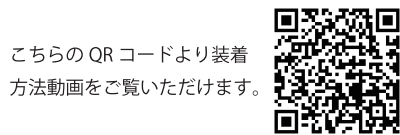
＜素材表示＞

- ・ナイロン
- ・ポリウレタン
- ・ポリエステル
- ・ポリプロピレン

＜サイズ表＞

サイズ	XS	S	M	L
身長 (cm)	148～157	157～166	166～175	175～184
胸囲 (cm)	72～101	72～101	76～106	80～111

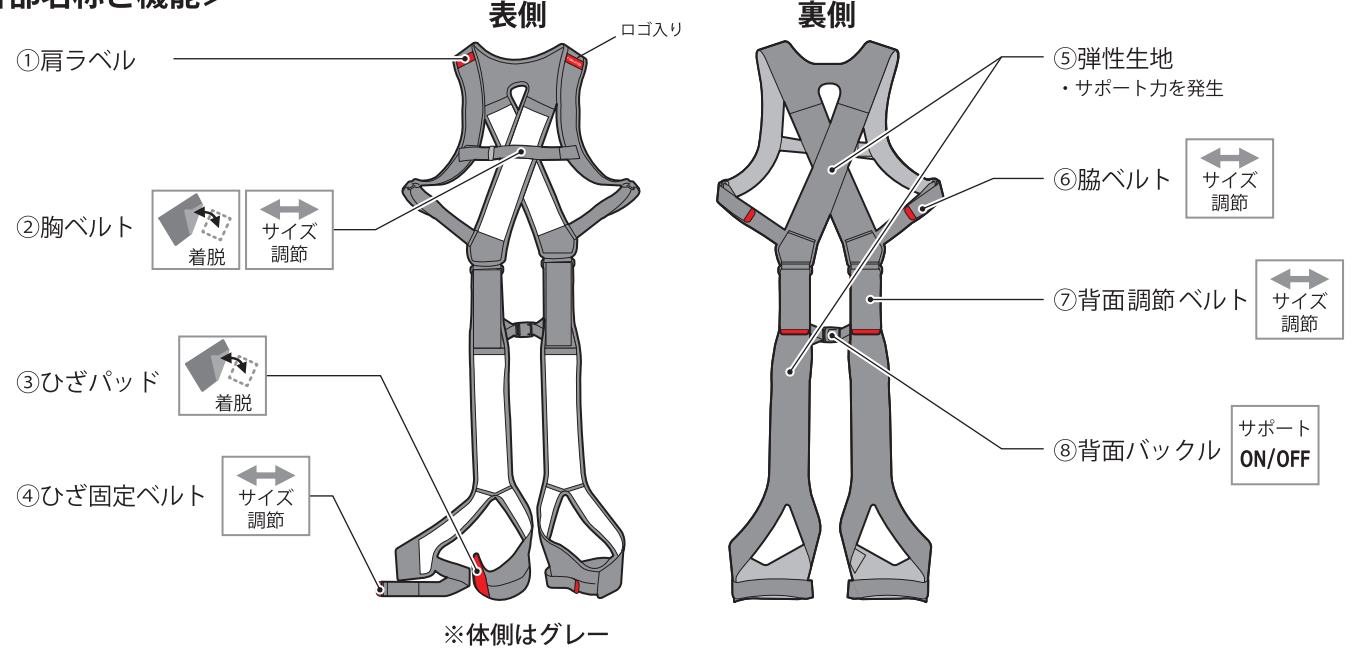
＜装着方法 動画のご案内＞



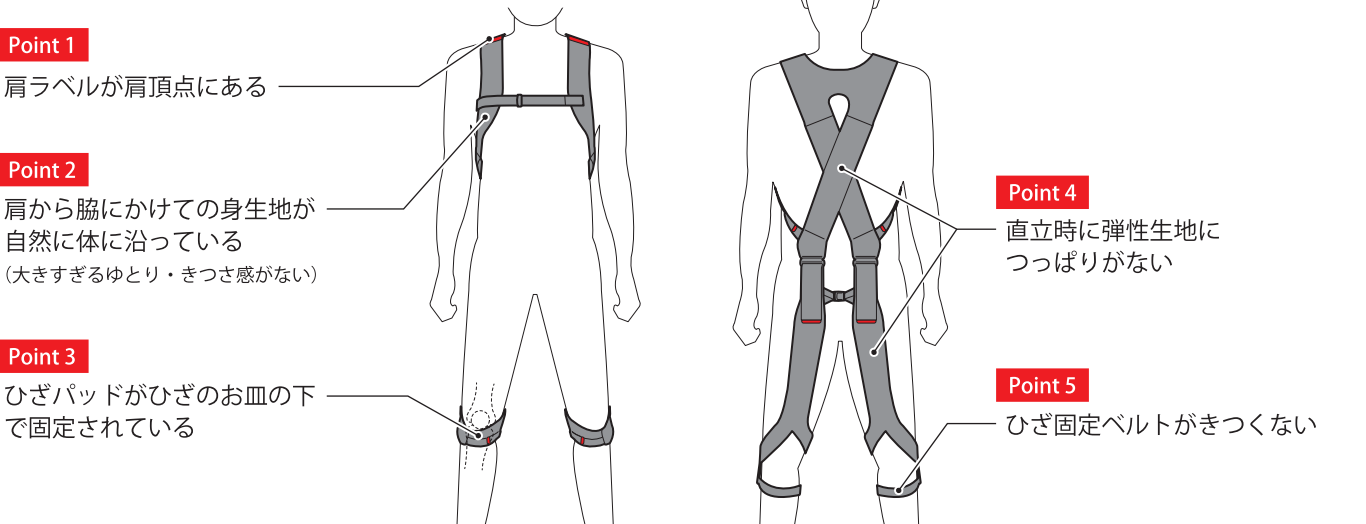
こちらのQRコードより装着方法動画をご覧いただけます。

(<https://www.youtube.com/watch?v=fqABVNgNifs>)

＜各部名称と機能＞

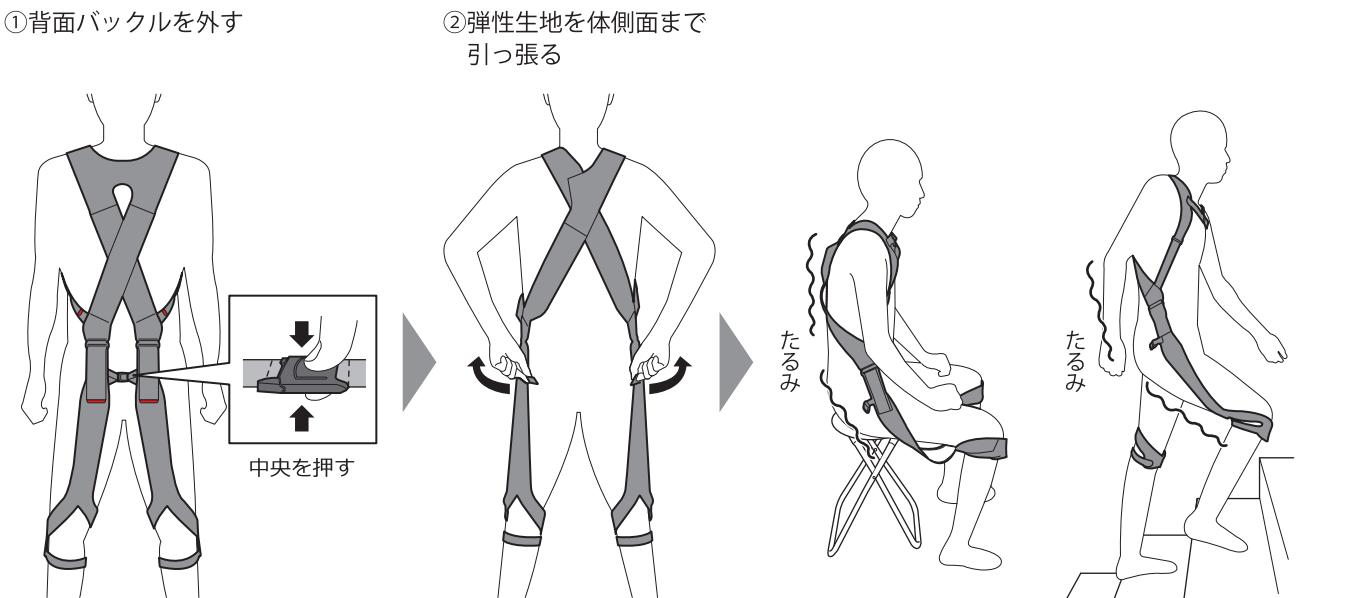


＜装着のポイント＞ ※詳しい装着方法は裏面をご確認ください。



＜サポート解除方法＞

背面バックルを外すことで、サポート力を解除することができます。
長時間椅子に座る場合や階段昇降など、サポート力が不要な場面でご使用ください。



<装着方法>

警告 順序に従って正しく装着されないと、十分なサポートが得られないだけでなく、身体が過度に圧迫されるなどし、ケガの原因となる場合があります。

1 ①胸ベルトのボタンを外す
②肩ラベルを目印に、リュックを背負うように左右の腕を通す

2 胸ベルトのボタンをとめる

3 背面バックルを外す

4 ①ひざパッドをひざのお皿の下でとめる
②ひざパッドがずれないように、ひざ固定ベルトを調節する

5 背面バックルをとめる

6 肩ラベルを肩頂点に合わせる

7 肩から脇にかけて身生地が体に自然に沿う程度に胸ベルトを調整する

8 体に沿う程度に脇ベルトを締める

9 直立時につっぱりがない程度に背面調節ベルトを締める

<こんな時には>

肩ラベルが後ろに下がる

NG

胸ベルトがあがる

NG

脇に食い込みがある

NG

胸部が左右に広がる

NG

対策 脇ベルトを締める

脇ベルトに比べて、背面調節ベルトの引張力が大きいと、肩から胸部にかけて背中側に引っ張られることがあります。この場合、脇ベルトを締めてください。

対策 胸ベルトをきつくない程度に締める

胸ベルトがゆるい場合、前屈時にベルトに加わる引張力によって胸部部分が左右に広がりやすくなります。この場合、胸ベルトをきつくない程度に締めてください。

対策 対策をしても改善されない場合は、背面調節ベルトを短くし過ぎている可能性があるため、背面調節ベルトを少しゆるめてから、脇ベルト・胸ベルトを調節する

◆調節の目安

直立時

ゆとりがある

前屈時

サポート力

肩ラベルが肩頂点からずれない

- 前屈時に肩や膝などに過度の圧迫がある場合は、背面調節ベルトをゆるめる
- 最初は少しゆるめに調節し、着用慣れた後好みの強さに調節する

装着完了 ※《表面》装着のポイントをご確認ください。